

外国語科英語学習指導案

指導学級：3年2組 32名
指導場所：3年2組 教室
指導者：教諭 有馬 倫子

1 単元名

NEW HORIZON 3 Unit5 Cell Phones – For or Against?

2 単元について

本単元は、電話の歴史や一般的によく利用されている携帯電話について、その使用の賛否を議論することを題材とし、自分の意見を的確に伝えることをねらいとしている。現在の携帯電話の利便性や、使用モラルなどについて考えさせられる内容であり、生徒にとって最も関心のある話題の一つでもあることから、生徒がその使用の是非について意見を交換したり、自分の考えを述べたりすることに適している題材である。

言語材料としては、「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」及び「間接疑問文」が扱われている。「現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法」については、英語特有の後置修飾という文の構造にも慣れさせたい。これらの言語材料と2年時に学習した I am for(against) ~ のような賛成・反対を表す表現等も活用し、身近な題材について賛否やその理由を述べることができるようにしたい。

本学級の生徒は、全体的に明るく活動的な雰囲気をもっている。しかしながら、話したり書いたりする活動においては個人差も見られ、苦手意識のある生徒もいる。そのため、表現活動の際にはペア活動やグループ活動等を取り入れ、お互いに高めあえるような学習形態を工夫するようにしている。さらに、NRTの小問分析によると、「適切な表現を用いて書くこと」と「伝える内容を整理して書くこと」においては全国平均を下回っており、「表現」の中でも特にまとまりのある文を適切な語句や表現を用いて書くことを苦手としていることが分かる。そのため、語彙・文構造の定着を図る手だてとして、下学年で学んだ文法の中から活用度の高い事項を選び、授業の冒頭にペアで練習する帯活動Q and Aの活動などを行ってきた。また、まとまりの英文を書くために、目標となる英文の全体像を示すワークシートである Speech Maker を用いながら、単元を通して段階的に英文を書くことができるようになるよう指導してきた。

本単元を指導するに当たっては、携帯電話を身近な題材として取り上げ、その使用の是非に関する意見を讀んだり聞いたりして内容を理解するとともに、それらに対する自分の意見を相手に伝える活動を設定し、意見交換に合った適切な表現を使いながら習得させたい。また、単元の終末時には、バスなどの優先席を意見交換の題材とし、それまでに学習した表現が活用できるように指導したい。そのため、前述の Speech Maker を使用し、単元を通じた計画的な指導を行う中で、学習形態を工夫しながら、自分の意見を英語で適切に表現する練習を重ね、自分の発想を整理し英語でわかりやすく表現する方法を学ばせたいと考えている。

このような、語彙・文構造やテーマに関する英語について、聞き、読み、書き、話す活動を関連付けて指導することによってコミュニケーション能力の基礎を育成したい。

3 単元の学習目標

- (1) 間違えることを恐れず積極的に自分の意見とその理由を表現しようとする。
- (2) 身近な題材について、理由を含めて自分の意見を相手に伝えることができる。
- (3) 身近な題材に関する意見を聞いたり読んだりして、内容を理解することができる。
- (4) 現在分詞及び過去分詞の形容詞的用法及び間接疑問文の意味・用法を理解することができる。また、討論に通ずる表現を身に付けることができる。

4 単元の学習計画及び評価規準

時間	学 習 の 内 容	評 価 規 準
1	<p>Starting Out 【目標】携帯電話の使い方について友達の見解を聞こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動 Q and A ・ 現在分詞及び過去分詞による後置修飾の形・意味・用法の理解と練習 ・ 現在分詞及び過去分詞による後置修飾を用いた表現活動 	<p>現在分詞及び過去分詞による後置修飾の形・意味・用法を理解し、それらを用いて身近なことを表現することができる。 「書くこと」「話すこと」</p>
2	<p>Starting Out 【目標】携帯電話の使い方について友達の見解と自分の意見を比較しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動 Q and A ・ 本文の要点把握と音読練習 ・ 現在分詞及び過去分詞による後置修飾を用いた表現活動 	<p>本文を読み、電話の歴史について理解することができる。 「読むこと」 現在分詞及び過去分詞による後置修飾の形・意味・用法を理解し、それらを用いて自分の考えを述べる。 「書くこと」「話すこと」</p>
3	<p>Dialog 【目標】携帯電話の使い方について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動 Q and A ・ 間接疑問文の形・意味・用法の理解 ・ 間接疑問文を用いた表現活動 	<p>間接疑問文の形・意味・用法の理解し、それらを用いて会話をすることができる。 「読むこと」「話すこと」</p>
4 (本時)	<p>Dialog 【目標】携帯電話の使い方について自分なりの考えをもとう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動 Q and A ・ 本文の要点把握と音読練習 ・ 中学生の携帯電話の使用を題材とした表現活動 	<p>対話の内容を理解することができる。 「読むこと」 気持ちをこめて対話文の音読練習をペアで行うことができる。 「読むこと」 携帯電話の使い方について、自分なりの考えをもつことができる。 「書くこと」「話すこと」</p>
5	<p>Reading for Communication 1 【目標】携帯電話の使い方について自分なりの考えをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動 Q and A ・ 本文の要点把握 ・ 本文の内容に関する英問英答 ・ 携帯電話についての自分の意見を英語で表現する活動 	<p>携帯電話に関して、英文の内容を理解し、それぞれの意見を正しくとらえることができる。 「読むこと」「話すこと」 携帯電話についての自分の考えを英語でまとめることができる。 「書くこと」</p>
6	<p>Reading for Communication 2 【目標】携帯電話についての意見を交換しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動 Q and A ・ 本文の要点把握 ・ 携帯電話について自分の意見を英語で表現する活動 	<p>携帯電話に関して、英文の内容を理解し、それぞれの意見を正しくとらえることができる。 「読むこと」「話すこと」 携帯電話について意見を英語でまとめ、発表することができる。 「書くこと」「話すこと」 相手の意見と自分の意見を比べながら、最終的な自分の意見をまとめることができる。 「聞くこと」「話すこと」</p>
7	<p>Reading for Communication 3 【目標】中学生の携帯電話の使い方について自分の意見を述べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動 Q and A ・ 本文の要点把握 ・ 携帯電話の使用について英語で表現する活動 	<p>携帯電話に関して、英文の内容を理解し、それぞれの意見を正しくとらえることができる。 「読むこと」「話すこと」 本文中の意見を参考にしながら、自分の意見をまとめ、発表することができる。 「書くこと」「話すこと」</p>
8	<p>発展的な表現活動 1 【目標】身近な題材に対する自分なりの意見をまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動 Q and A ・ 身近な題材についての自分の意見を英語で表現する活動 	<p>賛成・反対の立場から、自分の意見をまとめることができる。 「書くこと」</p>

9	<p>発展的な表現活動2</p> <p>【目標】身近な題材に対する意見を交換しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動 Q and A ・ 身近な題材についての自分の意見を英語で表現する活動 ・ 身近な題材に関するグループ討議 	<p>さまざまな意見の内容を理解し、正しくとらえることができる。 「聞くこと」</p> <p>それらの意見と自分の意見を比べながら最終的な自分の意見をまとめることができる。 「書くこと」</p>
10	<p>単元のまとめ</p> <p>【目標】Unit 5 のまとめをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動 Q and A ・ 新出語句、重要表現の確認・復習 ・ 本文の内容の確認・復習 ・ 単元テストの実施 	<p>新出語句や重要表現の確認ができる。</p> <p>単元テストを通して、学んだことの理解度を確認するとともに、定着を図ることができる。</p> <p>「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」</p>

5 本時の実際 (4 / 10)

(1) 題材名

Unit5 Cell Phones – For or Against? Dialog

(2) 学習目標

- ア 自分の意見を学んだ表現を用いて、相手に理解してもらえるように積極的に表現しようとする。
- イ 携帯電話の使用について、自分の意見を適切な語彙や表現を用いて表現することができる。
- ウ 携帯電話の使用についての対話の内容を聞いたり読んだりして、賛否（意見）を述べられるよう、内容を理解することができる。
- エ 間接疑問文の形・意味・用法について理解し、自分の意見を述べる表現を身に付けることができる。

(3) 授業設計の視点

- ア 英語で自分の気持ちや考えを表現する上で必要となる基本的な語彙や文構造を習得させる手だての工夫
 - (ア) 帯活動 Q and A
短時間で相手と英問英答を行い、コミュニケーションを支える語彙・文構造の定着を図る。
- イ 適切な言語の使用場面の設定と計画的な指導の工夫
 - (ア) Speech Maker の活用
Unit 全体で最終的にはどのような英文を書けるようになったらよいのかを提示し、本時ではどの部分が書けるようになったらよいのかを明確にする。
- (イ) インタラクションや英問英答の工夫
本文の内容理解等において、既習の表現を用いながら、教師の発問や生徒相互の問答を通して、生徒自身が英語を用いて表現しようとする意欲を高めさせる。

(4) 授業の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点と評価（は評価項目）
導 入	7分	1 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るい雰囲気です授業を始められるようにする。 ・ ペアでQ and Aに取り組ませる。 視点ア - (ア) 帯学習Q and A ・ 前時の学習内容を踏まえながら、目標を提示する。
		2 帯活動Q and Aに取り組む。	
		3 本時の目標を確認する。	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標：携帯電話の使い方について自分なりの考えをもとう。</p>
展 開	13分	4 教師とのやりとりによって対話の概要を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピクチャーチャートを用いて、スキーマ形成を図りながら概要を把握させる。 ・ フラッシュカードを用いて、新出語句の意味を確認させ、発音練習に取り組ませる。 ・ 読み取りの視点を与え、内容を確認させる。 視点イ - (イ) インタラクションの工夫 <p>対話の内容を聞いたり、読んだりして、内容を理解することができたか。</p>
		5 新出語句の意味を確認し、発音練習を行う。	
		6 教科書の内容について、教師の質問に英語や日本語で答える。	
		5分	7 ペアによる音読練習を行う。
	20分	8 携帯電話の使い方について自分なりの考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分はどのようなときに、何のために携帯電話を使うかを考えさせ、英文で表現させる。 ・ 英文を作成する際、語順に気を付け、既習の事項をできるだけ用いるようにさせる。
9 自分の考えを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えをグループ内で発表する。理由については、日本語で説明するまでにとどめる。また、相手の意見に対する応答もできるように、意識付けを行う。 視点イ - (ア) Speech Maker の活用 <p>自分の意見を学んだ表現を用いて、相手に理解してもらえるように積極的に表現しようとしたか。</p> <p>自分の意見を適切な語彙や表現を用いて表現することができたか。</p>		
終 末	5分	10 本時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時で学習したことを生徒が自分の言葉で説明できるようにさせる。 ・ 本時で考えた理由を、次時において英文で表現できるように意識付ける。 ・ 元気よくあいさつさせる。
		11 次時の学習内容を知る。	
		12 あいさつをする。	

